

報道関係各位

北海道北見市留辺蘂町松山 1-4
北の大地の水族館(山の水族館)
館長 山内創

行動展示・食育プログラム

食う食われるの命の営み『いただきますライブ』再開のお知らせ

北の大地の水族館では、2025 年 5 月 31 日(土)よりイトウの大水槽におきまして、生きている命が生きている命を捕食する『いただきますライブ』を再開いたします。

本プログラムは、自然界で毎日繰り返されている「捕食」という生きるためには不可欠な行動を生でお客様にご覧いただくものです。2012 年より開催し、メディア等にもこれまで数多く取り上げられてきたプログラムです。これを目的として訪れる方も多く、毎年再開を望む声を多く頂戴している当館の目玉展示の一つです。

私たちヒト以外の生物は「いただきます」という言葉の代わりに、持てる力を最大限に使って餌となる他者を捕食します。北海道を代表とする大魚イトウが、生きて泳ぐ魚を目にも止まらぬ早さで襲う姿は、動かない餌を食べることに慣れた生物からは感じることもできない命の力強さを見せてくれます。

本プログラムでは、イトウたちの姿を通して命と命の繋がりや私たちも他者の命を利用して、明日へ繋いでいるということを感じていただくため、飼育展示係による解説も交えながら進行していきます。

記

●再開日時 2025 年 5 月 31 日(土) 14:30～(所要時間 10～15 分)

●場所 館内 イトウの大水槽

●開催スケジュール 毎週 火・木・土曜日 14:30～(所要時間 10～15 分)

※ 本プログラムでは生きたヤマメを餌として与えます。

※ 展示生体の都合により中止または休止する場合もございます。

※ 館内でのプログラムのため、参加には入館料が必要となります。料金につきましては公式 HP をご確認ください。

2025年1月30日からの休止理由と再開への経緯

イトウの大水槽へ地下水を主として給水していることから起こる冬季の水温低下と、その後の繁殖期への突入からなる摂餌欲求の低下といった生体の生理的要因から冬～春季は例年休止しておりました。

現在の生体の体調などを鑑みつつ、摂餌欲求の上昇が確認出来ましたので再開する運びに至りました。

イトウについて



全長 1.5m 体重 20 kgまでもなる日本最大の淡水魚として知られ、過去には青森県や岩手県の一部と北海道各地に生息していましたが、環境破壊などで生息数が激減したことで現在では北海道のごく限られた一部の河川や湖にしか生息せず、「幻の魚」とも呼ばれるようになりました。現在、環境省の定めるレッドリストでは絶滅危惧ⅠB類に分類され、高いレベルで絶滅が危惧されている魚でもあります。

当館では良好な自然環境と適切な保護保全活動により安定的な個体群が維持されている北海道幌加内町の朱鞠内湖より、朱鞠内湖淡水漁業協同組合様ご協力の下、現在約 65～110 cmのイトウ計 8 匹を大水槽にて展示しています。

●お問い合わせ 北の大地の水族館(山の水族館)
TEL :0157-45-2223
MAIL:onneyu-aq@bz04.plala.or.jp
担当:山内創/山本直和

以上